



小倉大賞典(GIII)

JRA

THE KOKURA DAISHOTEN

第59回 小倉大賞典 (GIII)

1着 43,000,000円 2着 17,000,000円 3着 11,000,000円 4着 6,500,000円 5着 4,300,000円
本賞 490,000円 付加賞 140,000円 70,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、2024.2.17以降2025.2.16まで1回以上出走馬、除外未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

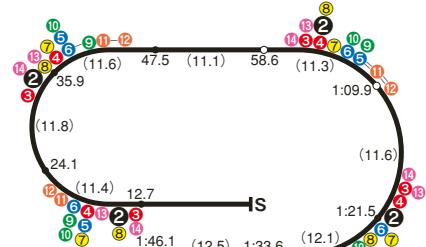
2025.2.23 小倉 暫・良 芝1800m (国際) (特指)

| 順位 | 馬名 | 性齢 | 斤量 | 騎手 | タイム | コーナー | 上り | 馬体重 | 単勝 | オッズ | 調教師 | レーティング |
|----|-------------|----|----|------|-------|----------|-------------|----------|----------|----------|----------|--------|
| | | | | | (着差) | 通過順位 | (600m) | (増減) | | | | |
| 1 | ② ロングラン | 駆 | 7 | 57 | 丹内祐次 | 1:46.1 | 10-11-8-9 | 34.0 | 478(-8) | 6.64 | 和田勇介(美浦) | 109 |
| 2 | ⑩ ショウナンアディブ | 牡 | 55 | 丸山元気 | クビ | 3-4-5-5 | 34.3 | 520(+10) | 12.77 | 高野友和(栗東) | 104 | |
| 3 | ⑧ ラケマーダ | 牡 | 55 | 秋山稔樹 | 1 1/4 | 10-9-8-6 | 34.3 | 496(-6) | 32.02 | 千田輝彦(栗東) | 102 | |
| 4 | ⑫ セルバーグ | 牡 | 6 | 57 | 和田竜二 | クビ | 1-1-1-1 | 36.4 | 446(+2) | 26.60 | 鈴木孝志(栗東) | 106 |
| 5 | ⑦ エビファニー | 牡 | 6 | 58.5 | 杉原誠人 | クビ | 6-7-7-7 | 34.5 | 502(-6) | 5.52 | 宮田敏介(美浦) | 105 |
| 6 | ④ マテンウォオリオン | 牡 | 6 | 56 | 古川吉洋 | クビ | 6-7-8-10 | 34.4 | 486(-2) | 23.30 | 昆 貞(栗東) | 103 |
| 7 | ⑥ グランドカラナン | 牡 | 5 | 55 | 大野祐弥 | アタマ | 3-4-5-7 | 34.7 | 452(±0) | 17.68 | 田島俊明(美浦) | 107 |
| 8 | ③ シルトホルン | 牡 | 5 | 57 | 吉田隼人 | % | 12-13-11-11 | 34.3 | 476(-6) | 4.41 | 新開幸一(美浦) | 108 |
| 9 | ⑨ コスマップドレア | 牡 | 4 | 55 | 佐々木大輔 | 1 1/2 | 3-3-3-3 | 35.3 | 494(+6) | 9.16 | 小野次郎(美浦) | 105 |
| 10 | ⑪ ヤマニンウルス | 牡 | 5 | 58.5 | 藤懸貴志 | % | 2-2-2-2 | 36.3 | 600(+9) | 6.43 | 齊藤崇史(栗東) | 106 |
| 11 | ⑭ エアファンディタ | 牡 | 8 | 57.5 | 酒井 学 | アタマ | 12-11-13-13 | 34.5 | 460(-10) | 17.90 | 池添 学(栗東) | 107 |
| 12 | ⑬ ギャラクシーナイト | 牡 | 6 | 56 | 菊沢一樹 | 2 1/2 | 9-9-11-11 | 35.1 | 506(-2) | 32.10 | 菊沢隆徳(美浦) | 108 |
| 13 | ⑤ ホウオウプロサンゲ | 牡 | 4 | 55 | 小沢大仁 | ハナ | 6-4-3-4 | 35.9 | 490(-2) | 10.36 | 矢作芳人(栗東) | 106 |
| 蹠 | ① タマモブラックタイ | 牡 | 5 | 55 | 角田大和 | | | | | | 角田晃一(栗東) | |

単勝②660円(4%)* 機動②220円(2%)* ⑩380円(7%)* ⑥670円(12%)* 枝連②-⑥ 1,760円(10%)*

馬連②-⑩3,990円(16%)* ワイド②-⑩1,220円(10%)* ②-⑩2,630円(41%)* ⑧-⑩4,510円(61%)*

馬單②-⑩7,920円(33%)* 3連複②-⑩31,050円(135%)* 3連単②-⑩-⑩160,400円(676%)*



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.9 - 47.5 - 58.6 47.5 - 36.2

アラカルト

- 丹内祐次騎手は小倉大賞典初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算8勝目
- 和田勇介調教師は小倉大賞典初勝利。JRA重賞は通算3勝目
- ヴィクトワールピサ産駒はJRA重賞通算8勝目
- 7歳馬の勝利は23年ヒンドウタイムズに統く通算8回目
- 駆馬の勝利は23年ヒンドウタイムズに統く通算6回目
- ヤマニンウルスの馬体重600kgは71年ヤマオアバの馬体重560kgを更新する本競走出走馬の最高馬体重記録
- タマモブラックタイは疾病(右前肢挫創)のため出走取消

ロングラン *Long Run*

驕 鹿毛 2018.2.9生
北海道千歳市 社台ファーム生産
馬主・梅澤明氏 美浦・和田勇介厩舎
馬名意味・長く元気に走ってほしい

| | | ノッティビアンカFR系 F16-0 |
|---------------------------------------|----------------------------|---------------------------------|
| ヴィクトワールピサ 黒鹿毛 2007 | ネオユニヴァース 鹿毛 2000 | サンデーサイレンスUSA ポイントッドバスGB |
| | ホワイトウォーターアフェアGB 栗毛 1993 | Machiavellian Much Too Risky |
| | Kendargent 芦毛 2003 | Kendor Pax Bella |
| | Biancarosa 鹿毛 2007 | Dalakhani Rosa di Brema |
| ノッティビアンカFR Notte Bianca 鹿毛 2013 | | |

5代までのインブリード：Halo S 4×S 5

INTERVIEW

東礼治郎場長(社会ファーム)

しばらく存在を誇示してくれると信じています

デビューから25戦目の初重賞制覇となりましたが、和田勇介厩舎の皆さんのが馬の成長を導き続けてくださったことと、過去2年の悔しさを晴らした丹内騎手の素晴らしいエスコートのおかげでここに至れたのだと思います。このレースで4、2、1と着順を上げてきたようにまだまだ力を感じますし、名前のとおり、しばらくその存在を誇示してくれる信じています。



ダートで未勝利、1勝クラス戦を勝ち上がった本馬は、芝路線に転じて頭角を現し、4歳時に2、3勝クラス特別を連勝。オープン入り後はリストツドの一勝にとどまっていた半面、2年前の小倉大賞典4着。昨年は2着に食い込むなど、重賞の舞台でも上位入着を重ねてきた。この日は三度目の正直を実らせて快走。「長く元気に走ってほしい」との願いが込められた馬名の通り、息の長い活躍を続けてきた古豪が念願のタイトルを掴み取った。

父ヴィクトワールピサ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央、仏、首15戦8勝(ドバイワールドC・首G1、皐月賞G1、有馬記念G1、中山記念G1、弥生賞G1)、ラジオNIKKEI杯2歳S・Jn_{III}、日本ダービーG13着、ジャパンC G13着)、12年から供用、21年輸出(トルコ)〔代表産駒〕ジユエラー(桜花賞G1)、アサマノイタズラ(セントライト記念G2)、スカーレットカラー(アイルランドトロフィー府中牝馬S G2)、ウイクトーリア(フローラS G2)、ロングラン(本馬)、コウソクストレート(ファルコンS G3)、ウォーリングステイツJPN Warring States(バイエルンクラシック・独G3)、ブレイキングドーン(ラジオNIKKEI賞G3)、レッドアネモス(クイーンS G3)、ミッシングリンク(TCK女王盃Jn_{III})、ミヤジコクオウ(鳳雛S・L、レバードS G32着)、アカアミラビリス(エルフィンS・L)

母ノッティアンカFR

仮5戦1勝(アイソノミー賞・L2着、クリティウムドサンクルーG13着)、16年輸入

ダイワセントライ (17 牝父Le Havre)持込 中央7戦0勝、障害5戦0勝
ロングラン 本馬(18 雄父ヴィクトワールピサ)中央24戦6勝(小倉大賞典G3、
デイセンバーS・L、レインボーソ、三木特別、小倉大賞典G3 2着、カ
シオペアS・L3着)、地方1戦0勝 獲得総賞金160,588,000円
(19 牝父ハーツクライ)

ランプシー(20 牡父ハーツクライ)中央12戦2勝

パンジャ(21 牡父ゴニルドシップ)中央13戦2勝(現)

ボンヌソワレ(22 牝父レイデオロ)由中央5戦1勝

(23 特々レイディオ口)

(23 住人)

祖母ビアンカローザ Biancarosa

アイルランド産 葵 伊3勝(マリエ共和国賞:伊1)

ノットビアンカER(13 前出)

トウキョウゴールド Tokyo Gold(18 牡父Kendargent)北米、伊、仏3勝
(伊ダービーG2、クリテリウムデルエスト・仏L、ベルモントダービー招
待S、当G2、2着)

（得S・未₁乙看）

首位母ローラン・Rosa di Brema
イタリア育、伊6勝(伊オークスG12着、アルキメディア賞・L3着)、ローザ
デルドバイIRE(マリオインチザ賞・伊G3)、ロランド Rolando(コンピエニュダ賞・仏L、ビアツツアーレ賞・伊G3)の母、**フォレガGB**(伊オーケスG1)の祖母。**リージョナル** Regional(スプリントC・英G1)の曾祖母。

今年は6週間の日程が組まれた冬の小倉開催もいよいよ大詰め。その看板といえるG3重賞・小倉大賞典は、前哨戦の小倉日経賞の2着馬シルトホルン、連覇に挑むエピファニー、ダート路線から芝へ矛先を転じてきたプロキオンなどの覇者ヤマニンウルスなどが差し支持を集め、上位拮抗の様相を呈した。ハンデ戦らしい混戦ムードに断ち下したのは、中心勢力の一頭と目されていた4番人気のロングラン。7歳の古豪が2着に終わった1年前の雪辱を果たし、初の勲章を獲得した。

2年前の中京記念の覇者セルバーゲンが、3着に逃げ粘った昨年に続いて今年も先制。2コーナーから次第にリ

ドを広げ、大逃げの態勢に持ち込む。初の芝コースでもスッと行き脚がついたヤマニンウルスが離れた2番手につけ、エピファニーは中団で折り合いに専念。ロングランの舟内祐次騎手は後方のインで脚を溜め、スタートで立ち遅れたシルトホルンはさらにその後の後方2番手を進んだ。

緩みのないラップを刻みながらも、軽快に飛ばしたセルバーグは直線を迎えても後続を寄せ付けず、大きな見せ場をつくる。しかし残り200㍍地点を過ぎてからレースは急展開。脚色が鈍った逃げ馬に、5番手を追走してきたショウナンアティップと、4コーナーで馬群の外へ持ち出され、追撃にかかる

息の長い活躍の末に初の勲章を獲得